

アメリカでの国際学会を終えて

工学府機械知能工学専攻D2 岡本 峻



はじめに

11月15日から21日にアメリカのサンディエゴで開催された国際会議 ASME 2013 International Mechanical Engineering Congress & Exposition に参加し、「浮遊式波浪発電ステーションの研究開発」について発表しました。

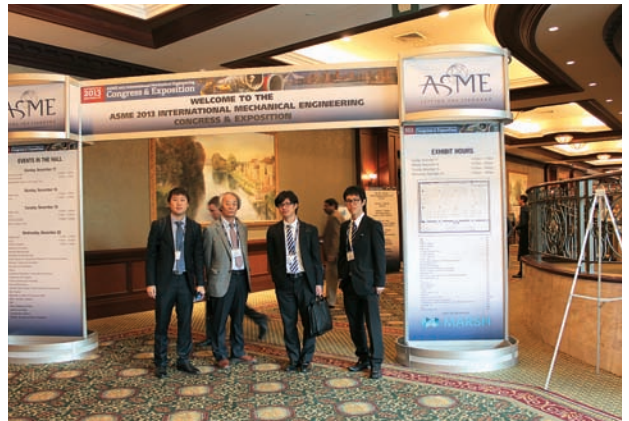
地球表面の約70%を占める海洋は、世界の陸地に存在する包蔵水力より理論上3桁以上の膨大な潜在エネルギーを包蔵しています。たとえば日本の領海・排他的経済水域の広さは世界6位であり、日本を取囲む波エネルギーは日本の電力消費量の1.3倍弱

に相当します。そこで波浪を利用する新たな発電技術の研究を進めており、その成果を世界に発信しました。

学会

学会では、異なる視点を持った研究者から多くの知見を得ることができ、非常に有意義でした。同時に自分の研究の独創性は世界をリードしていると確信しました。世界に発信するには英語能力が必須です。英語での発表は原稿を覚えれば、それなりに形にはなりますが、日本語の発表と比較した落差を痛感させられます。

質疑応答では、簡単な質問には答えることができましたが、議論が白熱してくると英語を理解するのに戸惑い、十分に答えることができませんでした。もちろん日本語だったら十分に対応できる内容です。この悔しさをばねにして次回の国際会議に臨みたいと思います。



学会会場

サンディエゴ

サンディエゴは海軍基地として発展してきた街であるため、海洋博物館や、空母ミッドウエイ博物館などを訪れることができました。帆船や空母などを実際に見ることができ、非常に充実した楽しいエクスカーシオンも持つことができました。

また現地で街を歩いていると日本車の多さに驚かされました。普段感じない世界での日本の技術と販売力の高さを感じることが出来ます。私も日本製品が世界中で活躍するため

に、技術者としてさらなる努力を積み重ねたいと改めて決心しました。

おわりに

最後になりましたが、このような貴重な体験に経済面で奨学金を援助していただいた明専会、論文執筆および発表内容などを御指導いただいた梅景俊彦教授、金元敏明特任教授に厚く御礼申し上げます。

(平成25年12月記)



USS ミッドウエイ博物館